

家庭教育応援NEWS

右の二次元コードから、閲覧・ダウンロードができます。→



福島県教育庁南会津教育事務所 総務社会教育課

親子の学び応援講座 ～南郷小・伊南小～

11月22日(金)、南郷小学校を会場に「親子の学び応援講座」が行われました。大人だけでなく、今や小中学生のスマートフォンを中心とする情報端末の所持率が増加するなど、子ども達が日常的にメディアと接する機会が増えています。この現状を踏まえ、ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会公式インストラクターの小杉一浩様を講師にお迎えして、メディアに触れるうえで注意すべきこと、どのように関わっていけばよいか等についてお話いただきました。また、デジタルデバイスを長時間使用することによる身体への影響や、読書・昔遊びの薦め等、デジタル時代のアドバイス等もいただきました。合間に入る頭の体操ゲームやユーモアあふれる講師の話に参加者から笑顔が漏れるなど、和やかな雰囲気の中にも多くの気付きと学びを得た50分間でした。会場をオンラインで中継し、伊南小学校の児童もこの応援講座に参加しました。



<保護者の感想より>

- 子どもだけでなく、私たち大人もスマホの使いすぎに気を付けなくては・・・と気付かされました。これから雪が降るとますます家にこもりがちになるので、昔遊びを子どもと一緒に実践してみたいと思います。
- ゲーム障害は病気で、専門的な治療が必要になってくることに驚きました。勉強中でもゲームのことで頭の中がいっぱいの時もあるのかなと思いました。今日の話を引きかけに、夜にでも子どもと話してみたいです。
- 子どもと一緒に話を聞いてよかったです。今まで子ども達に注意してもピンとこないところもあったので、本人達が理解して、メディアコントロールができるようになってくれればと思います。
- 睡眠や読書、昔遊びの大切さを知ることができました。メディアコントロールをして子どもの健やかな成長をサポートしていかなければならないと思いました。とても良かったです。

<児童の感想より>

- 私は講演を聞いて、スマホ画面を長時間見続けると眼球の位置が変わってしまうことにびっくりしました。スマホを近くに置いた勉強は集中力が低下することも初めて知りました。
- 講演を聞いて「20-20-20ルール(画面を20分見たら20秒間20feet(6m)先を見る)」を初めて知りました。そのルールを守って自分の目を大切にしようと思います。
- 私はこれからスマホやゲームをするときには一日何時間から一日何分に見直したいと思いました。読書もしたいと思います。
- ゲームは楽しいけどやりすぎはよくないと思いました。ゲーム依存は睡眠にも影響するそうなので気を付けたいです。



子ども達はメディア機器が発達した時代に生まれ、それらに囲まれた環境の中で日々の生活を送っています。「弊害を避けて単に学校や家庭でメディア機器の使用を規制したり、禁止したりすることは逆効果の恐れがあります。」「通信機器を与えたのは誰なのかをよく考え、家庭でのルールを決めて実践することが大切です。」これは小杉先生の言葉です。子ども達が今後被害者や加害者にならないようにするためには、学校だけでなく家庭でもメディアとのよりよい付き合い方や約束について子どもと一緒に考えていく必要があります。受講した各家庭では、きっと小杉先生の話やメディアとの付き合い方について話題になったことでしょう。参加者にとっては親子でメディアとの付き合い方を改めて見つめ直し、今後について考えるよい機会となりました。